嵐山モンキーパークの猿たち

現在、嵐山モンキーパークでは約 120 匹のニホンザルが飼育されており、その中には今年生まれた子猿も数匹含まれている。モンキーパークの猿たちは 3 月下旬から 9 月上旬の間に出産する。一般的に子猿は 6 ヶ月から 1 2 ヶ月の間母乳で育てられるが、3 ヶ月から 4 ヶ月を過ぎると固形物も食べ始め、母ザルの様子を見ながら採餌を覚えていく。父母両方の猿が子猿を運び、毛繕いをし、群れの中で守る。パークの職員は毎年生まれる子猿の名前を、母親の名前の末尾に生まれた年を加えて命名するというシンプルなシステムで管理している。この方法のおかげで、パーク職員はそれぞれの猿を母方の血統で簡単にたどることができる。

子猿は小さな頃から自立はするが、大人となるまでには 3 年半から 4 年半かかる。嵐山モンキーパークでは大人のオスザルの体重は平均約 13.5kg、体長は約 57cm に達し、大人のメスザルは平均約 52cm、体重は平均約 8.8kg となる。野生のオスは大人になると群れを離れる。嵐山モンキーパークの猿たちの間では、群れの順位を巡って争いが起こることもあるが、たいていリーダーは旧リーダーが年老いて死んだ時に入れ替えとなる。

ほとんどの研究者が、ニホンザルは現在猿が生息していない朝鮮半島から渡ってきたと考えており、日本では北は北海道のすぐ南の青森まで、九州や四国の島々にも生息している。